

日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に資格認定制度を創設し、24年目となります。特定の専門看護分野の知識・技術を深め、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的として13分野・2,075名の専門看護師と、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的に21分野・18,728名の認定看護師を社会に送り出しています(平成30年6月現在)。宮崎県内では、専門看護師13名(4分野)と認定看護師131名(17分野)が活動しています。

県民の皆様へ、県内で活動する専門看護師・認定看護師の活動内容を広く知ってもらい、皆様のお役に立てるような内容を情報発信する活動も3年目になりました。今後も継続して、この活動に取り組んでまいります。

～お悩みでないですか？



治療による毛髪の変化～

がん化学療法看護認定看護師 村上純子
(独立行政法人国立病院機構宮崎東病院)

近年、がん医療はめざましい進歩を遂げ、仕事を持ちながら通院している患者さんも増えています。治療に伴う身体症状の苦痛の上位に、毛髪の変化があります。そこで、毛髪の変化に対するワンポイント情報をお伝えします。

♡ウィッグ(かつら)

「**自分にあった価格・被り心地・スタイル**」をお勧めします。最近は、返品・交換可能な通販サイトを利用される方も増えているようです。医療用ウィッグでなければならない訳ではありません。前髪の長さやボリュームの調整などは、美容室でカットしてもらえらるか相談してみましょう。



♡帽子

帽子の代用品として綿やガーゼ生地のタオル等を横に広げ、**両サイドを袋状に縫い合わせ、帽子の様な形状にハンドメイド**されてお使いになられても良いと思います。汗をしっかりと吸って、洗い替えが効きやすいです。



♡眉毛やまつげの脱毛

眉毛が抜けると印象が変わります。眉を描くことは自分らしさを取り戻すケアのひとつとなります。まつげが抜けると、目に異物が入り易くなります。眼鏡の使用で対処することができます。



♡治療後のヘアカラー

白髪やウィッグを外せない不自由さが続くことを考慮すると、一律に否定は出来ません。治療前に使用されていた染毛剤を第1選択とし、染毛剤に対するアレルギーや皮膚症状、頭皮の湿疹が無いことを確認しましょう。地肌に染毛剤が付かないように注意も必要です。ヘアカラーの良い点、悪い点を踏まえた上での検討をお勧めします。